

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等	67-7125
----	-------	-----------	-----	---------

事業コード		事務事業名	城山ポンプ場維持管理事業				
根拠法令等	蒲郡市下水道条例第2条		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのある街づくり	下水道
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	処理区に居住する住民のために
手 段	城山ポンプ場の中継施設を適正に維持管理して
想定する成果	正常な雨水・汚水処理の保守を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
汚水送水量	2,099,488m ³ /年	2,063,756m ³ /年	2,100,000m ³ /年
雨水排水量	225,000m ³ /年	329,780m ³ /年	280,000m ³ /年
維持運転委託料	18,081,000円/年	17,115,000円/年	17,010,000円/年

成果指標

成果指標名	汚水ポンプ稼働率	-
成果指標の説明	(汚水ポンプ稼働時間/年時間) × 100	-

事業の進捗状況 (下水道特別会計) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	59.0%
	実績	56.5%	57.6%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	33,724	28,668	25,817
	人件費	4,022	3,892	3,945
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	37,746	32,560	29,762
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	37,746	32,560	29,762

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	年間を通して適正な維持管理をしている。
経済効率性	3	3	3	3	対象処理区の整備が進んで適正に稼働している。
事務効率性	3	3	3	3	民間委託及び長期継続契約を実施して効率を図っている。
必要性	-	3	-	3	市が実施する事業である。
小計	9	12	9	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	十分に貢献している。
合計	12	12	12	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資している。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成18年8月より3年間の長期継続契約を実施して、維持運転委託料の軽減を図った。	1,071千円

今後改善すべき点

適正な維持管理を行なうための人員の配置と維持管理システムの構築を図ること。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等	67-7125
----	-------	-----------	-----	---------

事業コード		事務事業名	城山ポンプ場整備事業				
根拠法令等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのある街づくり	下水道
----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	処理区に居住する住民のために
手 段	城山ポンプ場の中継施設の改築を計画的に実施して
想定する成果	機能の充実と保守をして正常な雨水・汚水処理を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
主要事業（千円）	雨水電気設備築造工事 108,478	雨水流入バイパスゲート築造工事38,914	雨水ポンプ電気設備築造工事 80,000
	沈砂ホッパー築造工事 26,250		機械設備築造実施設計 5,000
			耐震診断委託 9,200

成果指標

成果指標名	改築整備率（平成15～24年度）	-
成果指標の説明	$(\text{継続整備金額} / \text{全体計画金額}) \times 100$	-

事業の進捗状況（下水道特別会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	45.0%
	実績	33.0%	37.0%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	134,728	38,914	94,200
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	136,337	40,471	95,778
財源内訳	国	70,000	20,000	47,100
	県			
	市債	59,703	18,424	43,811
	その他			
	一般財源	6,634	2,047	4,867

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	事業計画時のとおり進捗している。
経済効率性	3	3	3	3	予算に見合った成果をあげてた。
事務効率性	3	3	3	3	人員に見合った成果である。
必要性	3	3	3	3	市が実施すべきものである。
小計	12	12	12	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	徐々にではあるが予算を確保し達成されている。
合計	15	12	15	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	B	設備の改築更新は、中長期計画に基づいて実施している。特に厳しい環境のなかで稼動している機器については優先順位を早める必要がある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
昭和50年7月に供用開始以来32年が経過し、各機器の消耗、磨耗、劣化が著しいため、平成15年度から国庫補助金の交付を受けて改築更新を実施している。特に平成16年度に実施した沈砂池機械設備改築工事は、汚水系水路断面を狭小することにより自動除塵機の幅員、能力を減少することが可能となり、工事費の縮減を図った。	710万円

今後改善すべき点

平成24年度までの中長期計画が策定されており、それを毎年予算確保して実施する。また、機器の能力等の仕様についても縮減を考慮していく。
--

平成20年度予算に反映する項目

計画に基づく予算確保

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】